

第4回としま再エネ会議
「天ぷらバスで行く！ご当地ソーラー発電所見学ツアー」
報告書

開催日：2015年10月31日（土） 13:15～16:30

開催場所：講座 国領駅前「あくろす」会議室

視察 調布市ダイセンター「まなびや」屋上

参加者数：参加者 20名（事前参加申請 23名 キャンセル 3名 申込み無 0名）

事務局：6名

講師：小峯充史氏（調布未来のエネルギー協議会代表理事）

実施内容：協議会についてのプレゼンテーション、市民協働型太陽光発電所視察

アンケート回答数：20名（100%）

（1）実施内容について

1. プレゼンテーション

豊島区公会堂前よりバスで移動し、国領駅前「あくろす」会議室にて調布未来のエネルギー代表理事の小峯氏によるプレゼンテーションを行った。協議会についての概要や市民と行政が協同で行う再生可能エネルギー発電事業におけるポイント、今後の事業展開等が紹介された。なお、バス内では環境エネルギー政策研究所の山下氏による再生可能エネルギーに関するクイズなどが行われた。

プレゼンテーションについてアンケートでは「よかった」とする回答者が全体の約80%を占めた。



（プレゼンテーションの様子）

2. 視察について

プレゼンテーション終了後、飛田給駅近くのダイケアセンター「まなびや」にて、屋上に設置した太陽光パネルを見学した。小峯氏からは、設置に至った経緯やパネルの周辺設

備についての説明があった。見学終了後、再度バスに戻った後も小峯氏への質疑応答が活発に行われた。

視察について、アンケートでは「よかった」とする回答者が全体の90%を占めた。



(視察の様子)

(2) まとめ

今回は、実際に発電事業を行っている現場での講座となったが、募集早々に申し込み者が定員に達した。当日は気温も低く、あいにくの曇りであったが申し込みをしたほぼ全員が参加した。天ぷらバス故障につき、通常のバスによるツアーとなったことは残念であったが、時間が足りないほど質問をしている様子などから参加者の参加意欲がとても高いと感じた。行政と市民の両視点から講座が進められていたため、事務局としても大変勉強になった。